

日時：令和2年2月23日(日)

午前の部 10:00～／午後の部 13:20～

場所：一橋講堂 中会議室 3,4

(千代田区一ツ橋 2-1-2)

参加費無料

樹状突起スパインの形成・維持・可塑性 ～ドレブリン研究 40 年の歩みと未来～

午前の部「ドレブリン研究とその発展」(座長 田中聡一)

- 10:05～10:25 「ドレブリンが脳からなくなるとどうなるのか？～ドレブリンの分子クローニングとノックアウトマウスの解析～」 児島伸彦 (東洋大学)
- 10:25～10:45 「樹状突起形成のための微小管重合核形成」 林謙介 (上智大学)
- 10:45～11:05 「眼優位可塑性とドレブリン」 今村一之 (前橋工科大学)
- 11:05～11:25 「アクチン結合タンパク質としてのドレブリン～タンパク質再構成系による解析～」 石川良樹 (県民健康科学大学)
- 11:25～11:35 「ドレブリン結合タンパク質の同定と機能解析」 山崎博幸 (群馬大学)
- 11:35～11:45 「超解像顕微鏡によるドレブリン局在解析」 小金澤紀子 (群馬大学)
- 11:45～11:55 「培養神経細胞におけるドレブリンクラスターの自動解析法とその薬物等の効果の検出における有用性」 花村健次 (群馬大学)

午後の部「シナプスの形成と可塑性」(座長 山崎博幸、小金澤紀子)

- 13:20～13:50 「Synaptic biology of the major psychiatric disorder risk factor ankyrin」 Peter Penzes (Northwestern University)
- 13:50～14:20 「A screen for molecular mechanisms of synaptogenesis: a journey from drebrin toward synaptic organizers」 Hideto Takahashi (Montreal Clinical Research Institute)
- 14:20～14:50 「Redox biology mechanisms involved in axon elongation」 Christian Gonzalez-Billault (Universidad de Chile)
- 14:50～15:20 「NMDA receptor activity and drebrin exodus from dendritic spines」 Yuko Sekino (The university of Tokyo)
- 15:20～15:50 「The relationship between drebrin and NMDA receptors within hippocampal spines of adolescents exhibiting maladaptive behavior」 Chiye Aoki (New York University)

特別講演 (座長 熊倉鴻之助)

- 16:00～16:45 「ドレブリン研究 40 年の歩みと未来」 白尾智明 (群馬大学)